

国の標準化案件に採択

タケ・サイト生コン圧送用先行剤

JISへ前進

化学製品のタケ・サイト規格（JIS）に制定さ

ト（静岡市）が開発したければ、受注拡大に弾みがつきそうだ。

生コンクリート圧送用先

行剤が経済産業省の標準

採択されたのは経産省にCNF配合の材料で膜

化案件に採択された。建

設現場で生コンを配管内度。同制度は中小企業が形成し、潤滑性を高め

に円滑に流し込むために

持つ優れた技術や製品の度が変化するCNFの特

使う圧送用先行剤は植物

標準化を迅速に進めるも性を生かし、配管内の詰

由来の新素材「セルロー

スナノファイバー（CN）ば2年程度でJIS規格 従来のもルタルに比べ約

「F」を使用。日本工業

になる」（国際標準課） 100分の1に抑えられ

る。

武田雅成社長は「革新的な技術に加え、大成建



生コンが配管内で詰まるのを防げる

設など大手ゼネコンへのと分析。現時点で同様の幅な受注拡大が期待でき
納入実績も評価された」製品にJIS規格はない」としている。

ため、「標準規格になれば、公共事業などでの大